

団体名	上智大学						
事業名	Sophia Student Integration Commons 田辺市熊野スタディツアー						
実施期間	令和5年6月10日～11日						
場 所	和歌山県田辺市						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	9	9	1	4	4	0	27名

<実施内容>

●本事業のテーマ

世界遺産「熊野古道」をきっかけとして、日本の地方都市である田辺市がどのような課題に直面しどのように熊野の伝統を継承しようとしているか、熊野古道歩きや一次産業体験（梅収穫）を通じて田辺市のSDGsの取り組み（「森（自然）を守る」「地域の産業を守る」「地域の暮らしを守る」）を知る。参加者がそれぞれ田辺市の「関係人口」となり今後田辺とどのような関わりができるかを考える。

●事前学習 5/26(金), 6/2(金)

和歌山県田辺市関係者による講話、オンライン(Zoom)で開催した。

・「田辺市の梅について」

田辺市の紹介、梅の歴史や栽培方法について（たなべ営業室鍋屋さん）
日向屋の事業について（日向屋岡本さん・田中さん）

・「熊野古道について」

歴史や現状、見どころなど（田辺市熊野ツーリズムビューローのマイクさん）

●スタディツアー 6/10(土)-11(日)

- ・梅収穫体験（日向屋）
- ・梅加工体験（秋津野ガルテン）
- ・まち歩きガイドツアー（天神崎、闘鶏神社）
- ・熊野古道ガイドツアー（世界遺産熊野本宮館、熊野本宮大社、熊野古道）
- ・とれとれ市場散策

●事後課題

スタディツアーレポート作成。

テーマは以下、

- ①田辺や熊野古道、日向屋のどのような取り組みがSDGs的であると感じたか、その理由も含めて説明してください。
- ②田辺の“関係人口”としてあなたが今後どのようなアクションを採ることができるか具体案を3つ以上書いてください。

<記録写真>



日向屋さんで梅収穫体験



秋津野ガルテンで梅加工体験



田辺市熊野ツーリズムビューローのマイクさんによる熊野古道歩きガイド

<参加者からのコメント>

シェーン・ヒリさん（アメリカ）/SHANE HEALY グエンタオグエンさん（ベトナム）
/THAONGUYEN NGUYEN

田辺市で初めて梅狩りを体験して、梅業界の未来を自分のことのように思えてきました。また、熊野古道の歴史や代々伝えられた伝統文化に触れたことが、自分の研究に大きく貢献したのです。会ったことのなかった同級生や後輩だけではなく、現地の方々とも交流を深められてよかったです。今回のツアーに参加しなければ、このような素晴らしい体験は出来なかったと思います。近いうちにまた訪ねて、友達も連れていきたいです。

熊野古道を訪れた日は晴天ではなかったが、小雨だったからこそ熊野古道の神秘さに気付かされた自分が恵まれたと改めて感じることができました。参道の大門坂を進む先に徐々に熊野古道の世界が現れてくる瞬間が一番驚かされました。なぜなら石畳敷の階段の267段を登らないといけないと思わなかったからです。とはいっても久々の運動だったので気合いを入れて仲間と最後まで登りきりました。杉並木に囲まれた参道の石段を上るその時振り返ると、その分、感動はひとしおでした。この旅で参道から見える山々の絶景も、皆さんと一緒に汗をかい味わえた空気も一生の思い出になりました。

英語名称（英語版作成用）

団体名	Sophia University
事業名	Sophia Student Integration Commons Kumano Study Tour